

平成29年度 シラバス

愛媛県立南宇和高等学校

教科	農業	科目	農業情報処理	単位数	2			
年組	年 組		教科書(発行所)	農業情報処理(実教出版)				
月	学習内容	学習の具体的な内容	評価の観点				項目	
			関	思	技	知		
4	第1章 コンピューターによる 情報の活用	1 日本語ワードプロセッサの利用	○		○		学習の目標 情報処理の基礎的・基本的な知識と技術を活用し、データ整理・分析や発表などコミュニケーション能力を身に付ける。	
5		第2章 情報の基礎	1 コンピュータと情報処理		○	○		
6		2 コンピュータのしくみと利用	○		○			
7					○			
						授業の進め方 身近な問題やデータを活用し、興味・関心を高める。また、反復練習により確かな技術の定着を図る。		
7	第3章 コンピューターによる 情報の活用	3 日本語ワードプロセッサの利用			○		学習の方法 実技を通してコンピュータソフトを活用する。また、総合実習や生産科目で実施する研究活動のデータも活用する。	
8				○	○			
9						○		
10		4 表計算ソフトウェアの利用		○	○	○		
11					○	○		
12					○	○		
						評価の観点 関心・意欲・態度 農業情報処理について興味・関心を持って、自ら調べているか。 思考・判断・表現 農業情報処理に関する諸問題の解決を目指しているか。		
12	第3章 コンピューターによる 情報の活用	7 プレゼンテーションソフトウェアの利用		○	○	○	技能 農業情報処理に関する基礎的・基本的な知識を身に付けているか。 知識・理解 農業情報処理の意義や役割を理解しているか。	
1			○	○	○			
2				○	○	○		
3				○	○	○		
						評価の方法 定期考査・課題・提出物・学習態度を総合的に評価する。		
【備考】 ※ 評価の観点は愛媛県立学校評価の手引(愛媛県教育委員会)による。								

平成29年度 シラバス

愛媛県立南宇和高等学校

教科	農業	科目	食品流通	単位数	2			
年組	2年1組		教科書(発行所)	新版 食品流通(実教出版)				
月	学習内容	学習の具体的な内容	評価の観点				項目	
			関	思	技	知		
4	第1章 現代生活と食品流通	1 流通の始まりと発展	○				学習の目標 情報処理の基礎的・基本的な知識と技術を活用し、データ整理・分析や発表などコミュニケーション能力を身に付ける。	
		〃		○		○		
5		近代的な流通の発展	○					○
		〃						○
		2 流通の働き		○				○
		〃		○				○
6		3 食品流通の役割			○			○
7	〃			○		○		
	授業の進め方						身近な問題やデータを活用し、興味・関心を高める。また、反復練習により確かな技術の定着を図る。	
7	第2章 経済活動と食料	1 経済流通と食品流通	○					
8		〃	○	○				
9		2 世界の食品事情			○			
		〃			○		○	
		〃					○	
10		3 日本の食生活、食料需要と自給率	○	○				
		〃					○	
	〃					○		
11	4 私たちをとりまくフードシステム	○				○		
12	〃					○		
	学習の方法						実技を通してコンピュータソフトを活用する。また、総合実習や生産科目で実施する研究活動のデータも活用する。	
	評価の観点							
	関心・意欲・態度						農業情報処理について興味・関心を持って、自ら調べているか。	
	思考・判断・表現							
12	第3章 食品流通のしくみと働き	1 食品流通の特徴	○				農業情報処理に関する諸問題の解決を目指しているか。 技能 農業情報処理に関する基礎的・基本的な知識を身に付けているか。 知識・理解 農業情報処理の意義や役割を理解しているか。	
		〃	○	○				
1		2 食品流通のしくみ				○		
		〃				○		
2		3 価格の形成と流通経費				○		
	〃				○			
3	1年間のまとめ		○	○		○		
【備考】 ※ 評価の観点は愛媛県立学校評価の手引(愛媛県教育委員会)による。								

平成29年度 シラバス

愛媛県立南宇和高等学校

教科	農業	科目	食品流通	単位数	2					
年組	3年1組		教科書(発行所)	新版 食品流通(実教出版)						
月	学習内容	学習の具体的な内容	評価の観点				項目			
			関	思	技	知				
4 5 6 /7	第4章 おもな食品の流通	1 米の流通	○			○	学習の目標			
		〃		○		○				
		2 麦の流通	○			○				
		〃	○			○				
		3 青果物の流通	○			○				
		〃	○			○				
		4 畜産物の流通	○		○	○				
6		5 加工食品の流通		○		○	授業の進め方			
		〃		○		○				
							身近な問題やデータを活用し、興味・関心を高める。また、反復練習により確かな技術の定着を図る。			
7	第5章 食品の品質と規格	1 食品の品質と安全性	○				学習の方法			
8		〃	○	○						
9		2 品質と品質保証								
		〃								
		3 規格、表示と検査				○				
10	第6章 食品の物流	4 食品流通と包装	○			○	実技を通してコンピュータソフトを活用する。また、総合実習や生産科目で実施する研究活動のデータも活用する。			
		〃	○			○				
		5 食品の変質と品質保持				○				
11 /12		1 物流のしくみと働き				○	評価の観点			
		2 食品の輸送				○				
		〃				○				
		3 食品の保管	○			○				
12	第7章 食品マーケティング	4 情報処理と物流情報システム	○			○	関心・意欲・態度 農業情報処理について興味・関心を持って、自ら調べているか。 思考・判断・表現 農業情報処理に関する諸問題の解決を目指しているか。			
		1 マーケティングとはなにか	○			○				
		2 マーケティングの発展	○			○				
		3 マーケティング戦略の手法	○			○				
1		4 食品マーケティングの実態	○			○	技能 農業情報処理に関する基礎的・基本的な知識を身に付けているか。 知識・理解 農業情報処理の意義や役割を理解しているか。			
2		〃	○			○				
3						○				
【備考】							評価の方法			
※ 評価の観点は愛媛県立学校評価の手引(愛媛県教育委員会)による。							定期考査・課題・提出物・学習態度を総合的に評価する。			